関係各位

平成 14 年 8 月 26 日

日本ハム株式会社

取締役社長 大社啓二

■社内調査結果の相違についてのお知らせ

この度は、弊社の不祥事により、関係各位に多大なご迷惑をおかけ致しましたことを、心より深くお詫び申し上げます。

8 月 20 日にご報告した日本フード(株)の社内調査結果と農林水産省が 21 日から 25 日にかけて実施された立入り調査・現物確認の結果に相違がありましたのでご報告いたします。

記

1) 社内調査結果で、日本フード(株)愛媛営業部が輸入牛肉の不良在庫 3,553.6kg をダンボールに詰替え申請していたとしていましたが、農林水産省の立入り調査・現物確認により少なくとも 3,145kg については意図的な偽装が行われたと判断されますが、410kg については、疑いはあるものの現時点では確認することができませんでした。
2) 社内調査結果で、日本フード(株)岡山営業部が国産牛肉の骨付きチマキ 30kg を申請していたとしていましたが、農林水産省の立入り調査において現物を確認したところ数量は 148kg と判明いたしました。
3) 社内調査結果で、日本フード(株)富士営業部が誤って輸入牛肉 15kg を出庫した可能性があるとしていましたが、農林水産省の立入り調査において現物を確認したところ数量は 24kg と確認されました。
4) 社内調査結果で、日本フード(株)福井営業部が単純な重量の計算ミス（73kg）により申請していたとしていましたが、農林水産省が現物を確認したところ 108kg が重量ミスであることが確認されました。
5) 社内調査結果で、日本フード(株)石川営業部が単純な重量の記入ミス（52kg）により申請してい

たとしていましたが、農林水産省が現物を確認したところ 49kg の重量ミスであることが確認されました。

6) 社内調査結果で、日本フード(株)香川営業部が箱に入れずに返品された輸入牛肉（10kg）が誤って混入した可能性が否定できないとしていましたが、農林水産省の現物確認により国産表示のないものがあったことが確認されましたが、立入り調査において伝票で確認したところ、該当する輸入牛肉はないことが確認されました。

以上